

具体的手法の検証

■趣旨説明

(目的) 例会趣旨を理解していただき、学びを深めていただきます。

(検証) 趣旨説明の中で、四日市青年会議所が70周年を迎えることができるには、諸先輩方が各時代において社会課題と向き合い運動を展開し、地域と共に歩んできた歴史があることを説明したことによって、どの時代においても時代に即した運動が必要であることが理解できていた。また、諸先輩方が活動をしていた時代には運動内容を考えたときに、どのような運動を行ってきたのかをお話しすることを次の委員会発表でお話しすることを伝えたことによって、委員会発表の内容では、どの話に着目して聞いておくべきなのかを理解することができていた。

■委員会発表

(目的) 四日市青年会議所の歴史に触れるとともに、グループワークへの導入とします。歴史に触ることで過去の成功例や体験を知ることでこれまでの青年会議所活動の中で自身がこれまでに思いつかなかつたことに出会い、これから可能性を広げていくことができます。

(検証) 委員会発表の中で歴史に触れたことによって、過去の成功例や体験を知りこれまでの青年会議所活動の中で自身がこれまでに思いつかなかつたことに出会い、からの可能性を広げていくことができていた。

■グループワーク①

(目的) 青年会議所運動の本質に触れる機会を提供するとともに、地域に貢献していく楽しさや地域とのつながりを多くもつことがいかに大切かを感じていただきます。また、卒業されてから見える青年会議所の姿や自身の人生のどのような影響を与えたのかをお聞かせいただくことによって、青年会議所で活動をする楽しさを理解し、過去の経験を活かすきっかけとしていただきます。また、自身にとって青年会議所の中での新たな可能性を知っていただきます。

(検証) グループワーク①の中で諸先輩方とこれまでの青年会議所運動についてお聞かせいただくことによって、地域の方々とつながりを持つことがいかに大切かを理解することができていた。また、青年会議所活動を経験したことによって、自身の仕事や人生にどうつなげていくことができるのかをお聞かせいただくことによって、青年会議所活動で学んだことをこれからの青年会議所活動や仕事、人生の中で活かしていく意欲を高めていくことができていた。そして、自分が思いもつかなかつたことをお聞かせいただいたことによって、可能性を広げることができていた。

■グループワーク②

(目的) グループワーク②を通じてメンバー全員で話し合い、皆が力を合わせることで運動の可能性が広がることを実感していただきます。また、グループワーク②では先輩方にも各グループに入っていただき、メンバー全員と一緒にになって考えていただくことで、四日市青年会議所メンバーではない方と共に未来を創り上げる大切さを理解していただきます。

(検証) グループワーク②を通して、自分一人だけではなく、多くの方と協働し、社会問題を解決していくことがいかに重要であるかを感じていただくことができていた。また、現役会員ではない諸先輩方にグループワークへ入っていただいたことによって、グループワークに緊張感が生まれながらも、一緒に未来を創っていくことの大切さを理解していただくことができていた。

■委員会まとめ

(目的) 例会を振り返り、四日市青年会議所の歴史を改めて理解し、四日市青年会議所がこれまで続けてきた理由を明確にすることで、これから青年会議所運動の可能性が広がっていくことを理解することができます。

(検証) これまで四日市青年会議所が続けてきたことを明確にすることは、自身の青年会議所活動の可能性が広がるだけでなく、四日市青年会議所全体の可能性を広げていくことを理解していただくことができていた。